



佐野中通信

ひたちなか市立佐野中学校
令和7年度学校だより
No.4 6月号
令和7年5月30日(金)



々々照今よりよき今をともに創らん

It's almost rainy season!!

今年の5月は、特に週末になると雨模様の天気が多いと感じられるひと月でした。関東地方ではまだ梅雨入りの報道はされていませんが、それにしても雨が多いので、既に梅雨入りしているのではないかと思います。一般的に梅雨という六月の印象があります。しかしながら五月中の雨という、梅雨という言葉は適切ではないのかもしれないなと思っていたのですが、ふと次の言葉を思い出しました。それは『五月雨』です。そんなこんなで調べていくと様々なことを知ることができました。厳密には、梅雨とは季節を表す言葉であり、五月雨とは雨そのものを指し示す言葉だということを知ることができました。

何がしかの大々的な行事を行うときには晴れてほしいものですが、晴れも天の気、雨も天の気です。今年の五月に雨が多かったからには、お天道様にも何がしかの事情—「はからい」があるのでしょう。天の気をいただいたこと、そして日々それぞれの恵みに感謝申し上げます。

創り継ぐ絆で勝利を掴め! ~駆け抜けろ 佐野中体育祭



5月17日(日)に第58回体育祭を開催しました。実施にあたっては、約一週間前から複数の情報を見比べ、日によって変わる予報に気をもみましたが、最終的には土曜日の朝、一日の順延を決定しました。二日間にわたり朝早くから気をもませてしまい、申し訳ありませんでした。あらためましてお詫び申し上げます。何にしても開催日はやや曇り気味で陽射しが強いつきと感ずることはなく、運動にはほどよい気候での体育祭となりました。当日は実に多くの保護者の皆様と地域の方々に来ていただき、誠にありがとうございました。とにかく、予行練習のときから生徒たちの表情には笑顔があふれ、仲間を応援する声が飛び交い、自分の出番に力を注ぐとても素晴らしい体育祭となりました。

開催にあたっては、佐野小と高野小から多くの TENT を貸していただきました。あらためまして御紹介申し上げますとともに、両校の御協力に感謝申し上げます。

来年度は、創立80周年記念の年に行う体育祭となります。何がしかの、さらに一工夫を凝らした、生徒たちからのアイデアがほしいと思っています。

瞬く間に5月は過ぎ去っていきました。まずは御承知のとおり、勝田三中学区と佐野中学区の「前渡小・佐野小・高野小・勝田三中・佐野中」の5校が、同日に引き渡し訓練を実施しました。保護者の皆様に引き渡しをしなければならないような事態は起きてほしくはありませんが、もし何かの災害や事故が起きたときに、その万が一の場合の対応に少しでも安全かつ速やかに対応できるようにすることを目的としたものです。実際にやってみて、本校では短時間で終わることができましたが、課題も見つかりました。当日は大規模な地震を想定してのものだったので生徒をグラウンドに避難させましたが、実際には600人を超える生徒が一堂に会しているの、正直なところ指示のとおりにくいところがあり、もっと本番に近い緊張感をつくりだすための工夫が必要だと感じた次第です。

この訓練の後5校合同で反省会をもちましたが、先々への引継ぎも考慮し、当初の話し合い通り、3年に一度、同様の訓練を実施することとしました。

保護者の皆様、当日はお忙しい中、車ではなく、徒歩・自転車でのお迎えに御協力をいただきまして、まことにありがとうございました。



智仁武勇



生活の柱：時空人の「間」を照らす - 時「間」・空「間」・人「間」

Key Word：時空人の間を燦々と照らして よりよき今をともに創らん



5月18日（日）に無事、体育祭を行うことができました。2週間と短い時間の中で練習や作戦会議を重ね、本番前から一人ひとりがベストを尽くす姿が見られました。当日の2・3年生の先輩が全力で競技に参加する様子は、1年生にとって良い見本となりました。

2年2組 体育祭の様子です。

5月18日に、体育祭が行われました。各種目のリーダーを中心に、チーム編成の話合いや練習に取り組みました。当日は、大縄の掛け声や全員リレーの応援など、一人ひとりが声を出し、クラスに貢献しようと頑張る姿を見ることができました。その結果、3位に入賞することができました。今回の体育祭で得た力を、今後の学校生活や行事でも活かしてほしいと思います。



総体まで残り1か月を切りました。部活動では、3年生を中心に大活躍をしています。これまでの練習で培ってきた技術と精神力が、まさに今、花開いています。仲間との絆を深め、目標に向かってひたむきに努力する3年生の姿は、下級生にとっても最高の刺激です。悔いのない総体になるよう、最後の仕上げに励んでください。

5月の末には生徒総会を実施しました。例年にならい、前年度の決算報告と今年度の予算案の提示・承認を行い、その後各常任委員会、学年委員会からの活動方針の発表がありました。特に常任委員会については、学年の枠を超えた縦のつながりで、それぞれの委員会に分かれて、学校をよりよく、そして少しでも気持ちよくみんなが学校生活を送るために協力して活動するものです。各委員会では先輩から後輩へと仕事を伝え、受け取った側は少しずつ工夫を加えて、よりよいものを模索しながら先の未来へと繋いでいく。その繰り返して佐野中をよりよい学校へと発展させてほしいと思っています。

紹介が遅れましたが、令和7年度の生徒会スローガンは、『創り継ぐ～古き良きを大事に新しく～』です。そして本校の教育目標は、『郷土のよき伝統を受け継いで、その真のよさを後世に伝えることのできる生徒を育てる』です。本校の生徒会スローガンは、教育目標を具現化した言葉として、これ以上ない実に見事なものです。このスローガンのもと、先生と生徒が足並みを揃えて、同じ方向を向いて佐野中を盛り上げていきましょう。

現在4名の教育実習生が本校に来ています。全員が本校の卒業生です。5月20日（火）から始まりました。期間は2週間と3週間ということで実習生により異なりますが、1年生、2年生、3年生のクラスにそれぞれ配属となりました。毎日、朝のあいさつ運動に始まり、授業、給食指導、清掃活動、そして部活動などと、日々、奮闘しています。

世間では教員不足が叫ばれており、本校でももっと多くの先生にいてほしいという思いはありますが、そんな中、こうして教育実習生として学校現場に足を運んでくれることは本当にありがたいことです。社会に出る前に教育実習を体験することは、他では味わうことのできない貴重な人生経験です。学生生活を終えたあと、どんな道に進むかはこれまた人それぞれですが、母校での体験を大きなエネルギーに変えて、これから先の人生で大きく羽ばたいてください。

余談ですが、今年度後期には2名、来年度は8名の教育実習生の受け入れが確定しています。